

大学名	北海道大学
-----	-------

第65号 特集テーマ「気候変動対策  
—地球とわれわれの未来のために—」

表題	気候変動に関する国際ネットワークでの貢献
----	----------------------

## 特色ある取組, IUCA, UArctic

International Universities Climate Alliance(IUCA)は、2020年4月にニューサウスウェールズ大学が発起人となり、気候変動に関する科学・影響・緩和・適応に関する研究ベースの知識を世界に発信するために発足し、北海道大学は同年正式加盟しました。アメリカ地域、アフリカ地域、太平洋地域、欧州地域、英国地域、アジア地域の6地域に56機関が加盟(2022年4月現在)しています。2020年のG20首脳会議(議長国:サウジアラビア)に向けて、北海道大学を含むIUCA加盟機関有志37機関で提言をリリースしました。

2021年7月には、Climate Talksで本学教員が研究報告したり、大学の地域連携活動についてのセッションを企画運営するなどの活動を行いました。2022年にはアースデーに合わせたGlobal Student Forumが開催され、学生3人が参加し、気候変動問題の解決に自らの分野の知識や経験がどのように活かせるかのディスカッションの場としても機能しています。

UArcticは、カナダ・デンマーク・フィンランド・アイスランド・ノルウェー・ロシア・スウェーデン・アメリカ合衆国(8 Arctic States)を中心とした北方圏における課題に関わる教育・研究のための教育機関ネットワークで、2001年に事務局が設立され、北海道大学は2011年に非北極域メンバーとして加盟しました。現在UArcticには176機関(ロシア国内55機関は保留中)が加盟し、北海道大学は23大学と大学間交流協定を結び、教育研究活動を進めています。

北極域が抱える特定のテーマごとの研究ネットワークに、若手研究者中心に現在は7名の教員が参加するほか、学生フォーラムやサマースクール・ウィンタースクールに毎年参加し、本学の学生が現地研修を積んでいます。

## 期待できる成果・評価 など

北海道大学には、北極域や気候科学において世界をリードする研究者が多く在籍し、多様な人々と連携・協働して世界の課題解決に貢献するという2040年に向けた本学の国際戦略「Hokkaido University Global Vision 2040」に沿って、国際ネットワークで貢献するとともに、そこで活躍できる学生を育成しています。

